浜松 南高新聞
発行所 県立浜松南高校新聞部
静岡県浜松市米津町
印刷 浜松共同印刷株式会社

メガネの 吉田屋
駅前広小路通り
TEL 53－1188代

論説

若者よ 足跡をつくれ

高校生活三年間は、まさかけ出しの時代の青春をいくつかの点で独特な方法をつくってくれた。それらは行事に多いが、たとえば文化展、体育大会、砂の芸術などがあり、いろいろと批判の声もあったが、現在でもまだそのままの方法である。また生徒会関係でも、何人かの会長を経て規約改正が進められてきた。

三年生は、この三年間、高校といっぱいどんなことをして何を得たのだろうか。ひとりひとりの収穫はいろいろで、量より質ということで高校生活だけで得られる貴重なものを得た人もいれば、質より量で小さなものでも幅広くことをいろいろと身につけた人もいる。とにかくもう社会に出ても、りっぱにやっていける人がかなりと思う。また海外に出る人たちも、学校生活における秩序や友人関係などでやはりここで得たものが役立つだろう。

三年生が在校生に残してくれた位置には鮮やかなものがあるに違いない。

高校生活三年間三年生にしてみればいつの間に、三度の春夏秋冬が過ぎてしまったという感じだろう。

今卒業していく三年生は、いろいろと抵抗のまま、学校生活の最後の幕がおろされたばかりである。

しかしこれまでの南高生は、どこかぶきっかなかった。今新しい南校を築くにあたって、三年生の足跡をむだにしないでいろいろな面で結び絆を発揮し、一、二年生もひとりひとりが自覚できるような雰囲気をつくりたいものである。

三年生が新しい社会に入ってまた二、三年生が高校生活を続けていて、いかなる苦しみがあっても、逆境に生きる根性というものを若者として忘れてはならない。父親が苦労している息子に語っているこんな話がある。

「年輪はどうしてできるかわかる。それじゃ年輪のしんが北側方向によっているものがあるのはなぜかわかるかの。南風と太陽をいっぱいに受けて育つ南側は年輪と年輪の目が幅広い。つまりそれだけ肉づきもよく、豊かに成長する。だが寒い北風を受けて育ったしんのほうは肉づきもよくない。」

我々若人は夢がある。未来がある。だが今、これらに対して自分の可能性を認めてしまったり、先の絶望してしまって、安心していてはいけないのである。ほんとうにこの夢を自分のものにするために、自分の手で自分の未来を切り開いていかなければならない。

しかし果てには、必ず喜びが待っていることを期待していてはならない。無限の可能性を開拓する強い意志を持って歩み、その喜びをきっかの取捨とすることによって、豊かな精神を高めていけば、自分の夢も濃く、立体的になっていくのではないろうか。

明日を生きられる者はいないだからこそ、きょうという日を力強い自分に頼って確実に生きていきたいものである。

角材として、つまり「柱」になる。柱というものは家を支える時、ここに一番重力がかかるという所に用いる。つまり逆境に生き抜いた人間は、梁にはならんが「柱」になれるというもんじゃ。逆境と戦い、苦労に打ち勝ってこそ校に立つ人間に育れるんじゃ。だから、おまえのこ

長田さん

商業科から初の会長

男女の差はない

意欲高まる新生徒会

南高全体の「和」を考える

後期半ばに会長にかわって、初の女子生徒会長である長田会長を中心に前期生徒会が発足してから約二ヶ月。新しく小池洋男を副会長として迎え入れ、まさに順調に乗っている生徒会である。二月十七日に行なわれた三年生を送る会」も無事に終わり、今は公約である「南高全体の和」と「行事の再検討」を実行させつつある。規約改正委員会も活発に動きだしていて完了の日が待たれる。とにかく順調に進んでいる生徒会。今後の活躍が注目される。

会議中の生徒会本部

上・長田会長
下・小池副会長

決選投票に持いて、竹内光君と九十一票の差で、本校はじまって以来初の女子会長となった長田さんは、前期生徒会を運営するにあたって、次のような抱負を語った。

長田会長

立会演説会でもいったとおり、①南高全体の「和」②行事の再検討を公約として、考えていきたい南高全体の「和」については、前期には大会等の行事が少なく、具体的に「和」というものがあらわれる機会が少ないが、たとえ結果的にはあらわれなくても、それに向って進んでいくことに意義があると思うから、できる限りやってみたい。

行事については、現在は学校からあたえられたものだけを行なっているが、それだけでなく、生徒の意見をとりいれて、どんどん新しいものをやっていきたい。これは「和」にもつながることである。

また生徒集会については、必要であるならば、いつでも行ないたいが、原体みは時間が短かくてできないし、土曜日・放課後はバスの時間の関係ででき ない。LHRは授業であるから使えない。生徒集会は授業をつぶしてまでも行なえない、授業のあいまをみてやるものだとのことである。そこで会長が特に言いたいこととして、生徒全体に、もっとやる気をおこしてもらいたい。ということである。

役員の選出に不満の声

初の女子会長に望むこととして生徒にインタビューしてみると、男子に負けないようにやってほしい・新しいことを、どんどんやってほしい・男女の違いは関係なく、いろいろかもしれないけれど、女子が男子についていくのは抵抗を感じないが、男子が女子についていくということを考えると、やはり男子がやり遂げることができないと思う。などの意見が聞かれた。

生徒会に関心があるかについては、関心があるのだけれども、何を行なっているのか活動の内容についてよくわからない・副会長以下の本部役員が知らないうちに決められてしまっている。本部役員がHRにとっては、二人以上いるところもあれば、一人もいないところもあるというようなことから生徒会に対する関心度が薄れてくるのではないだろうか。

規約改正については、以前説明があったけれども、一度の説明だけでは不充分だという声が多かった。

小池副会長

生徒どもひとりが、生徒会の会員であって、生徒会がなければクラブも成立しないということも知ってもらいたい。とにかく力をためすつもりでできるだけ手伝ってもらいたい。生徒会員が生徒会の会員であるのだから、クラブの活動にもっと関心を持ってもらい。会員にクラブへはいってほしいが、やはり義務的には個人の心がけにいたいである。

前期生徒会本部役員

会長　長田ひさ子（二十七）
副会長　小池　洋史（二十五）
会計　小池　洋史（二十五）
伊堂　文子（十七）
書記　梅田　千里（二十六）
阿部　純男（十一）
総務　田田　宏子（二十六）
山村　睦（二十五）
厚生　小楠　啓代（二十八）
渥美　宗則（二十四）
大給　大録（二十二）
保健　鐘江　厚子（二十九）
鳳紀　藤田　和史（十五）
藤田　調司（二十二）
横井美恵子（十六）
規約改正　倉形　遠義（二十五）
水島　康浩（十五）

規約改正中間報告すすむ

規約改正委員会が週一・二回開かれている。以前規約改正は、本部だけで行なっていたが、生徒の意見をきくために、各HR一名ずつ規約改正委員を決め行なっているもの。

長田会長になってからは、一月二十日に行なったのがはじめてである。今のところ、二十八条までの原案が決まり、二月十八日のLHRを利用して、生徒に内容の中間報告が行なわれた。

規約改正原案が全部終了するのは六月ごろになる。

不振であったフォークダンスについては、総務委員を通して、意見調査を行なった。結果としては廃止の意見が多く、処置については検討中である。

三枚差で優勝決まる

古典に親しむため

第六回校内カルタ大会が一月十二日から三日間開かれた。十二・十三・十四日の各教室で、十四日は図書室で華々しく、準決勝、決勝戦が行なわれた。

生徒会本部ではカルタ大会を行なう目的を「古典に親しむため」今忘れられている日本独自のものを私たちが正月に行なう百人一首という身近なもので、少しでも接してみたい」といっていた。

今大会は各HR一組（四人）が出場することになったため、昨年まで二日間だったものが三日間に変更された。各HR代表選手がA、B二つのブロックに分かれてのトーナメント形式である。そのほかお手つきの場合などのルールは昨年と同様である。

会場にあてられた一年生の教室では、いっぱいに集まった生徒が運動関係の応援とは違い静かに運手を見守っていた。読み手がカルタを読み出すと一瞬教室が静かになり読み手の声だけが響く中で「ハイ」という声がすると、回りの人々の中からため息がもれ、急にざわめきが起こり、次の歌を読み出すまた静かになる。このようにして試合が続けられていった。

決勝戦は、三年生どうしの試合となった。始まる歌がおそ、たせいか応援の生徒は多く見られなかったが、それでも熱心な応援が続いた。五十四チームから選抜された一チームだけあって、抜きつ抜かれつの大接戦。はじめから枚数の差はなく試合が終るまでどちらが勝つのかまったくわからない一戦であった。途中、様子を見にいらした先生に元気を言うなど明るいふん囲気の中で試合は進められていった。五時ごろ試合終了。勝敗はわずかカルタ三枚で決まった。勝負の世界はきびしいもの。

順位は次の通りである。

優勝（二十九日R）
高橋妙子・野木ゆつ子
準優勝（二十五日R）
大塚伸夫・和田芳雄
三位（二十二日R）
小鵜野子・鵜野多喜子
同位（二十九日R）
青鵜好子・高瀬貴代子

高校生活三年間を終えて

若者よ 足跡をつくれ

わあ!!　こっちの取らないで

突然の火災に備えて

防火訓練の必要考える

火災がひんぱんに起きているようこのごろ騒がしい住宅地・家財道具が豊富であることが原因で火の回りが早くなり消防隊のるということがしばしばあり防火訓練の必要性が高まってきている。

そこで、三学期終了前の十二月十日に防火訓練が行なわれた。三時間目終わりから西時間目にかけて全校生徒が体育館に集合した。なお雨の途中十一HRの男子は講堂に集合した。

練習方法は、まず初めに、校内の各教室から出火したという想定のもとに、消防署員の指導のもとに、消防隊の到着までの間、消火器の使用法を説明し実際に使用方法を加え消火訓練を行なった。

生徒が整列し終った後、この日のために わざ来てくださった消防署の署員が消火器の使用法を説明し実際に使用方法を加え消火訓練を行なった。

生徒の態度は、ふざけるものもいるが、多くは真剣に参加していた。

訓練の最後に、校長先生から、防火の大会の成功率を高揚度で、ふたたび、「火災は、恐ろしいものだ。」と、注意があった。

火災は、ほとんどの人が、恐ろしいものだと思っていたが、実際に起きた火災ならどうだろう。あなたの命はなくなっているかもしれない」とのようなきびしい口調で話していた。というよりも怒っていた。

自分たちのための訓練であったことを考えていたろうか。防火訓練での態度を今一度、反省してみよう。今後、このような機会がもうけられた場合で真剣に参加しないのである。私たちについて・どこで・どんな火災が起きるかわからないはず、あまりにも訓練に無関心すぎるのではないか。消防署長さんも 「訓練」からということでだからたらやっているようだ。これ

スキー教室

規則正しい講習

スキー技術の向上めざして

第六回スキー教室が冬期休暇中の一月三日から三日まで利用して、伊豆ぐちり長野県山ノ内町の蓮台寺高原丸池スキー場で開かれた。このスキー教室は、団体訓練を体育科の松下・鳥崎・蒲地先生が指導した。

今年は、雪が少なく、ゲレンデは、ほとんどアイスバーンの状態であった。

初日は、朝7時ごろ、雪が降り始めた。9時ごろ、雪は、ますます強くなり、ゲレンデは、真白になった。

午前は、ボーゲンの練習をした。

午後は、ボーゲンの練習をした。

二日目は、朝7時ごろ、雪は、ますます強くなり、ゲレンデは、真白になった。

午前は、ボーゲンの練習をした。

午後は、ボーゲンの練習をした。

三日目は、朝7時ごろ、雪は、ますます強くなり、ゲレンデは、真白になった。

午前は、ボーゲンの練習をした。

午後は、ボーゲンの練習をした。

ごくろうさん

マイクのかげの美人

今回で最終回を迎える「ごくろうさん」は、朝・昼の放送をはじめ、文化展や体育大会などでお世話になっている放送委員を訪れた。

我々も放送をよく聞き、それに興味をもとう。

今回で最終回を迎える「ごくろうさん」は放送委員を訪れた。

放送委員には、放送部から朝昼の放送をはじめ、文化展や体育大会などの伝達、案内などでお世話になっている。他に仕事をスムーズにするために、三月には放送委員全員で反省会を開き、次の一年間の放送のプログラムを作成する。

また北館・南の放送室は、朝は八時から八時三十分まで、昼は十二時四十分から十三時十五分まで放課後は六時ごろまで放送を受付けている。放送部は「放送委員の心得」を配ったって、一年生五人、二年生六人の計十一人が毎日奮闘をしている。

放送委員は、インタビューしてみると、朝早く、帰りが遅いので、クラブと両立できないという欠点はあるけれども、放送を通じて自分の声が校内に伝わり、それを聞いて多くの生徒たちが、同感に思い聞できるというところに、やりがいを感じている。また放送委員間で違うHR学年間の交流ができ有意義だと思う」と答えてくれた。

放送の内容として、月一詩題「放送委員の心得」を配ったって、一年生五人、二年生六人の計十一人が毎日奮闘をしている。

放送委員は、レコード係りなくたしてもらいたい。これからは、放送委員だけの放送ではなく、学校全体で興味をもってもらいたい。そのために放送の内容に気を配っていきたいと語っていた。

放送委員に「ごくろうさん」と感謝すると共に放送をよく聞き、興味をもち、今後の活躍を期待しようではないか。

遠州灘

▼卒業生に寄意しつのいて思っていることはやとインタビューすると、先輩自身が三無主義（無気力・無責任・無関心）に徹し学校生活に活気がない・生徒会が活発でない・ノンビリムードということばが多く返ってきた。刺一刺と移り変わる現代社会の中でノンビリムードというのは得がたいことだが、三無主義に徹したノンビリムードというのはどうであろうか▼一日の生活史、朝は薄いカバンを持って登校。遅刻の常習犯がまことに多い。一、二時間目の休み時間あたりから早弁がチラホラ目につき始める受身の状態でなんとなく授業を受けクラブをやり家に帰る▼行事面でもまたしかり。去る二月十七日に行なわれた三年生を送る会。内容はさておき舞台では失敗の連続のためか、紙くずやスリッパが飛びかう。観客席ではこっくりこっくり居眠り▼三無主義が南高の伝統だと言われる現在、せめてもそれでみなければならない問題である▼わたしたちは学問をするために高校に来た。もちろんそれだけではないが…。しかしその中には一応そういうつもりでも、みんなが行くから式で来た人もたくさんいるはずである。学校という組織の中に入ったからには高校で学ぶべき教育課程を消化しなければならない。そんな甘い考えで来たからには単調な生活のくり返しに満足できるはずがない▼若者として考えた通りのことを実行すれば高校生としての自分が成り立たなくなる。南高生—高校生の枠の中でのみ行動すれば自分が成り立たなくなる。集団生活を自分と対応させながら営むことはむずかしい社会に対する多くの矛盾とからみ合い悩み苦しむ▼集団の中では何よりも秩序が大切である。秩序を欠けば大混乱が起きる。自分がそう信じる道でも学校という集団の場で生きているいじょう、忍ばねばならないことがある。人間一人で生きているわけではないのだから。公で認められるまでは学校の きまりに従わねばならない。また認められるよう、あらゆる努力をすべきである。それが成されていないのが現状。だがままだ忍耐心が不足しているのではないか▼若者として消極的すぎる。自分のかに開き・流もりすぎる傾向がないか。そんな青春を過ごしてもよいものだろうか。失敗してもよい。悩み苦しむのもよし。そうなることを怖れてはいけない。若いのだからそれから立ちあがれるはずである▼何にもせよ何もせずに日々を過ごすのはいけない。信念を持てノやる気を起こせノおもしろおかしく毎月を過ごす人もいるだろう。まじめにいっしょけんめい過ごす人もいるだろう。何かをやろうではないか。他の人が何かをやろうとしたら進んで参加しよう。学校内のことだったら野次馬根性でもいい、目を向けよう▼青春いかに生くべきか。青春の大半を過ごす高校生。一日の生活の活動時間の大部分を過ごす学校生活。学校生活をいかに過ごすかといっても言いすぎではない。個人個人の中に問いもう一度改めて考えてみよう。

そのかみのひとのこころもとつくにのひとのおもひもよみにしらるる
谷島屋書店
連尺町本店
遠鉄名店ビル
遠州浜団地

学生の店
かねよしストアーをどうぞ御利用下さい
菓子　飲料　そうざい　文房具
その他いろいろとりそろえ致します
学校前の店

大黒屋
手芸品・毛糸
和洋裁・雑貨
田町65　TEL 52—1390

カドレス 学生服
ストレッチのコート
良い品の安い
婦人服 小池屋 紳士服
学生服

新刊書籍
雑誌
参考書
辞典
地図
文庫
浜松市連尺町角
文泉堂

御通学には指定制服で
女子冬指定服
〃 夏スカート
〃 冬トッパー
男子制服詰エリ
生地純毛日毛カシドス地
〃 ギャバ地
御調製
特約店 大森洋服店
浜松市佐藤町TEL⑥3828

南高校制服専門店
ユニチカ　◎注文制服専門
（旧ニチボー・日レ合同会社）
長袖ブラウス
ネクタイ
純毛サージ　静岡県代理店
栗林株式会社
浜松市下池川町　TEL(71)7295
信愛高校入口

卒業生を送る

活発な南高に
何ごとも実行

高校生活を終えた卒業生に、三年間を振り返って、今後在校生に言うことを短い文章に託してもらいました。先輩の期待を裏切らないようにこれらの言葉をひとりひとりの心に刻み、これからの南高発展のため、高校生活をより充実するために生かしていってほしいものです。

青春は与えられるものではない。自分でつかみ取るものだ。それには不断の努力だ。努力の南高生ガンバレ!　Y・S

遊ぶだけ。しかし遊ぶには勉強もしろ。それもしないやつは本当のバカだ。　Y・K

ある人が言ったっけ、用いない物は衰え、最後には消滅する。三年間五体満足でいたければ、何でもしてみることですね。　M・I

一年生の時上級生が怖かった。二年生の時上下生が憎そうに思えた。三年生の時下級生が生意気に見えた。　H・T

オレは今卒業して行く。三年間は何のためだったか?そんな疑問を残して。何か一つのことをやり遂げたかった。　N・O

高校は精神力・体力の訓練の場である。課外活動に力を入れよ。勉強はテスト一週間前から励め。成功祈る。　L・N

当早よう在校生諸君!この中の君の使命だが、高校生活の中でいかに多くの選挙をするかにある。君もいずれ君のメンバーが生存競争から脱落しても、当局はいっさい責任を負わないからそのつもりで。なおこの活動は自動的に消滅しないから、破ぐなり塗りつぶすなりしてくれたまえ。　M・W

思いついたらすぐ実行してみるべし。座にぶつかったら考え直せばいい。そして悪い所は素直に改めればいい。　M・S

誰からも愛され、そして尊敬される人間になれ。　K・J

くどくどとは言うまい。唯、今までに養われた思考力と判断力を充分把握し、かつ最大限に生かせといいたい。　I・M

羽より軽いものは塵である。風よりより軽いものは無である。風より軽いものは無である。　O・I

黄鼎なくして勝利なし、バラの道なくして正座なし。正座とは自分自身が本当に満足できたときのみにある。近道よりも回り道を選べ。自分から言葉にならうかれてはいけない。　N・T

在校中の皆さん。人生は長いようでいて短い。一日一日をたいせつに。　H・S

他につけられ、女の子に振られ、先輩にどやされ、先輩に怒られ、いやなことばかりだがそれが高校生活。　S・S

失敗は青年の特権である。失敗は恥れるな!困難を避けるな!　S・Y

また人生十八年足らず、それで世の中の何がわかる。反抗する前にまずは学ぶ気持ちになれ。しかし服従するな。　T・H

若者よ。後ろを振り返るな。君には、未来しかないのだ。どんなに苦しくとも……。若者よ。とどまるな。君には前進あるのみ。どん底にあろうとも。　T・T

君達には、まだ残された高校生活があるだ。心残りのないようにやりたいことをやれ!(限度を知って)　S・S

人の選挙はほんの小さな事で左右されることもある。しかし、それを克服しようとしてこそ人間になれる。そのためにも、あらゆる事に関心を持とうではないか。　J・T

でっかい目標を立てよう。そしてそれに突っ進め。何があろうとも、それが青春だ。　I・S

『我々に限界はない』これが若さの象徴だ。そのためにはありとあらゆる苦労を、自分の手で乗り越えねばならない。　J・T

卒業を間近にして、高校時代が最高だと思う。若いんだから自分のやりたいことを責任を持って貫くことを勧める。　M・S

いつにあっても自分のしたことを自ら納得できるような誠実な人間になれ。妥協のない誠実さで自分と他人につくす人間になれ。　M・S

男の子は勉強しよう。女の子はいっぱいいっぱい、いろんなことをしよう。ファイト!　H・S

チリも積もれば山となる。日頃の努力を怠らないように。努力あるのみ。ガンバレ!　Y・H

この世で一番恐ろしいことは、自分自身に負けることだと、地震・雷・火事・おやじの順に厳しい。　Y・M

「青年は決して安全な樂を貪ってはならない」ということばがあります。学生のうちに多冒険をしてみては。　U・M

なくさんの思い出を残して旅立つ。悔いることは多い。在校生諸君、君達には悔いなき高校生活を選む。　H・I

このままぬるい校風に満足すまもっとはつらつとした活発な南高にできるのは君達だのだ。　H・S

成功は結果であって目的ではない。したがってまず実行してみることである。　Y・K

学生時代は何にも変えがたいものである。勉強・友情・恋すべて純粋なものであり、大人の打算はない。　T・S

活動的な南高生になることを期待するとともに南高作りに貢献して欲しい。　M・T

三年間なんアッという間に過ぎてしまう。したいことは何でもやってみよう。失敗したっていいだから青春。　M・E

『歳月は人を待つ』野口聞き流していたのことばが、今ごろ胸を打つ。　Y・H

長い一生の中のたった三年間!苦しいこと、悲しいこと、むずかしいこと。多くに味わっべきだ。　K・O

高校時代をいい子過ごしたら後悔する。実感を感じて自分の力で伸びる。　T・H

卒業生にインタビュー
現在の南高を考える
まだ残る多くの問題

南校も創立以来六年。そろそろ校風もまとまってきた。第五期生を送り出す際し、卒業生の感じた南高・南高生を卒直に語ってもらった。バラ色の高校生活を夢にみて入学し、卒業式を迎えた。そこで新聞部では卒業生に、入学当時の南高の印象、南高生として過ごしてきた三年間を振り返り、現在の南高・南高生についてインタビューしてみた。

四十四年度も終りに近づき、卒業生に、入学当時の南高の印象、南高生として過ごしてきた三年間を振り返り、現在の南高・南高生についてインタビューしてみた。

入学当時の南高については、▼伝統を作ろうとする意欲があった▼プール・個人ロッカーなどの設備が整っていない、など「新設校」のイメージが、まだ強く残っていた。また、交通の便が悪いというようなことも聞かれた。そしてこのごろより、無気力、生徒がおとなしい、などの消極的な面も見られた。「伝統を作ろう」という声も聞かれた。

現在の南高については▼普通科商業科とわかれているため、学校内の統一・生徒の一体化にかけている▼"ことなかれ主義"的ふんい気である▼ノンビリムードである▼目標を持っている人が少ないなど、多くの問題点がうかがわれた。そこで、これらについて理由を追求してみた。まず言えることは高校生活が、進学・就職のためだけの単なるものになってしまっているようなことである。また、三年間をなんとなく過ごしても、卒業できるから、一定以上のことは望まない人が多い。このような現在の高校のあり方が、我々生徒を無気力にしてしまうのではないだろうか。

また南高生が、おとなしい、消極的であると言われるのは、先生の力によって、積極性が押えられるからではないだろうか。」HRの雰囲気が、先生によって提出されることが多く、自分たちの力で計画していくことが少ないなど、いろいろなことが、先生の力で動いているのではないだろうか。

本校において、生徒会活動が活発でないのは「生徒会本部が努力しても、生徒がそれについていかないからではないのか」というような意見が聞かれた。『生徒のための生徒会』だから、生徒が生徒会を盛りたて、生徒と生徒会が一体とならなくてはならない。

また、一つの学校で普通科と商業科に分かれているために一体化がなされにくい」という問題ことでもあり、生徒会をはじめ、校内の諸活動に積極的に参加することで、自然に両者が融和され、一体化が進むのではないだろうか。

また、学校の施設が不充分だという意見も聞かれた。強く要望されているのが、プールで個人ロッカー、クラブの部室をあげられる。プールに関しては、学校側で計画しているようだが、今すぐにとはいかないようだ。交通の便が悪いという問題は、市の交通課や、学校側の予算と関係があり、困難のようである。

中庭での一光景

取材日記

菩提寺、ひさしぶり長蛇の列。これは、その日が雨になったせいだろう。いつまで待ってもかけられそうもなかったので、その日はあきらめてしまった。そして提案、市内の赤電話は三分で切れるそうだが、殺戮の三十分しかたっていない。これからは開閉式、柔道部の「猛者」たちが声をはりあげていて、校投場に入りにくい。しかし出席者が少ない。各HRでひとりずつ出席だということだが、実際には半分もいないだろう。

菩提寺、校内の赤電話を借りに行ったが、電話の前には一人の選挙はほんの小さな事で左右されることもある。しかし、それを克服しようとしてこそ人間になれる。そのためにも、あらゆる事に関心を持とうではないか。　J・T

でっかい目標を立てよう。そしてそれに突っ進め。何があろうとも、それが青春だ。　I・S

『我々に限界はない』これが若さの象徴だ。そのためにはありとあらゆる苦労を、自分の手で乗り越えねばならない。　J・T

卒業を間近にして、高校時代が最高だと思う。若いんだから自分のやりたいことを責任を持って貫くことを勧める。　M・S

いつにあっても自分のしたことを自ら納得できるような誠実な人間になれ。妥協のない誠実さで自分と他人につくす人間になれ。　M・S

男の子は勉強しよう。女の子はいっぱいいっぱい、いろんなことをしよう。ファイト!　H・S

チリも積もれば山となる。日頃の努力を怠らないように。努力あるのみ。ガンバレ!　Y・H

この世で一番恐ろしいことは、自分自身に負けることだと、地震・雷・火事・おやじの順に厳しい。　Y・M

「青年は決して安全な樂を貪ってはならない」ということばがあります。学生のうちに多冒険をしてみては。　U・M

なくさんの思い出を残して旅立つ。悔いることは多い。在校生諸君、君達には悔いなき高校生活を選む。　H・I

このままぬるい校風に満足すまもっとはつらつとした活発な南高にできるのは君達だのだ。　H・S

成功は結果であって目的ではない。したがってまず実行してみることである。　Y・K

学生時代は何にも変えがたいものである。勉強・友情・恋すべて純粋なものであり、大人の打算はない。　T・S

活動的な南高生になることを期待するとともに南高作りに貢献して欲しい。　M・T

三年間なんアッという間に過ぎてしまう。したいことは何でもやってみよう。失敗したっていいだから青春。　M・E

「お互いの幸福」
水野隆夫

人間は社会活動を営んでいる以上、ひとりだけでは生活できない。他人とかかわりあっていくか(他人をかかわり利用するか、といってもよい)、対人関係が問題である。その操作が上手なものは成功するだろうし下手なものはつまらない人生を送ることになるだろう。自分も幸福、他人も幸福「お互いに幸福」こうなれば万々歳である。

「お互いに幸福」とは、人に好かれたい人になる見られたいと願う。これは人間の本性である。人は必ず若い好意を示すであろう。これが「お互いの幸福」なのであるから。

最近の若者は礼儀を知らないとよく言われる。生徒の先生に対する礼儀、後輩の先輩に対する礼儀。なっていない。人間というのは単純であるから、ちょっと頭を下げられれば気分がよくなるものである。そうすれば思わぬ恩恵をうけるかもしれない。本人のいない時にはどんなに悪口をいってもよい。しかし先生、先輩の前では礼儀をわきまえなさい。それが「お互いの幸福」なのである。

生徒会活動に携わるようになると次第に口がうまくなる(逃げガラほど方が上手になる)。これは誰に教えてもらうわけでもない。自然と身につくのである。(この節の大先輩が政治家の諸先生)。自分は弁論大会など各種の集会で、人前に出て話をする機会をもった。そこで話をしていて一番気にかかるのが聴衆の反応である。ここでは当然笑うであろう、拍手があるであろうというところを最初に予想しておいて"間"の取り方を研究する。だから、そこでだれも笑わなかったり拍手がなかったりすると、かなりしらける。その点ほの「そうだ」はかった。会場の雰囲気を盛り上がらせるし、こちらもやりやすい。「お互いに幸福」である。生徒会活動にも雰囲気作りが大切。これさえうまくいけば、各種の行事もかなりの成功を収めることができるであろう。

いい加減な事をたいぶ言いたい人は"どいつはいい加減な人間だ"と思うかもしれない。このことをいうとこうなるとこうなる

三年間に学んだ教師

思い出をありがとう

多くの先生と接して

三年間、この南高で学び教多くの先生と接して来た。好きな先生、どうしても意見があわずなじめなかった先生とさまざまである。

先日の体育の時間にマラソンをしたときふとなつかしく思った。一年生になったばかりのころのことである。先生を先頭にみんなでマラソンをしていって、途中のあ世話で馬飛びをしたり、小川の近くで、先生を囲み歌をうたったとこと。高校に入ると先生が強い存在になると聞かされていた私には初めて教師を身近に感じた体験だった。

また私は、三年間を通じてどうしてもなじめなかった、理解し得ぬ先生があった。指導面でどうこうというのではなく、性格的なことに対して理解できない。あまりにも生徒の間で、軽率にことばをいいすぎると思い、その先生になじめず常にひどいで腹を立てたものだ。しかし何年か立ってふり返ってみると、最も思い出となる恩師であると思う。

高校となると、それ以前とは違い、先生というものが遠ざかることは事実だと思う。接触も事務的なものでしかなくなってしまうようで、寂しいと思ったこともあった。

今こうして考えてみても思い出せることは少ないが、学校をほなれ社会に出てみて、あらためてふり返ってみた時、まざまざと思い出としてよみ返って来る、そんな先生も数多く思られることだと思う。この三年間先生方からは、多くの恩恵をうけたことを私は小らうれしく感じている。

M・S

心に残る オトボケさん

おさて人となる若者点多い。ここに紹介する少名に美しい。

先生「ハイ、ナニカネ」

生徒「先生、これとれしかじかです」

先生「ハア、ハア」

生徒「これとれしかじかです」

先生「ハア、ハア」

とまあこんな調子で会話が話まる。つまりおそいのオトボケ作戦である。

オトボケさんの一番よいところは、ひどい近眼のうえにメガネをかけない。そこで喜ぶのは生徒諸君、授業中何をしようと勝手である。ある女生徒に「メガネは似あわない」といわれたそうな。なんと純情なオトボケさんではないか。

水泳、バレー、陸上となんでもこなすオトボケ先生。まっ白で清潔な胸、そして独身、悪したことのない女性諸君がほのかな恋心をもつ。週一度しかない化学の時間、黒板には水素、硫酸の化学記号やや焦点がずれてオトボケさんをじっと見つめる。そうとは知らぬ近眼のオトボケさん、無中で授業をしている。十分間になると時間がないとあせっている。

驚くことに男性のクラスは受けもつことがないそう。なんとなく残念そうな口ぶりではあった。

このオトボケさん、現代男性にはめずらしいほど素朴な人物であり、また力タブツである。隣のクラスに遠慮をかけるといって歌も歌わせないほどである。もっともこんなところがエンケイモウ

シアケル点でもあるが。

でも、学期になるとうも巻ち着かないようす。原因をたずねると彼男に婚約者、まあいいでしょう。それも今では遠い〝福井の人〟である。

TK

恩師の思い出とは？

恩師の思い出とは、すき美った昔の、教えを受け世話になった先生を思い出すことなのである。

とここまでは普通に解書でも引けば誰にでも書ける。だが、これが大変だ。恩師に全然ピンと来ない。思い出、過去は忘れたのいだ。きのうのことをさえなつかしがって書くわけにはいかないし、こんなことばかり書いて出すともできない。

私は時々、先生が次の再びなるといって私の心がテリケートにできているのはもちろんだが、私がバカであるわけはない。そう、私の心はせまく、そして広いのだ。これを説明するのはむずかしい。

私の心はごく普通のものなのだが、テストの時である。別に面倒を出すことに対しものではない。テストの最中に緊張の先生が、私の背にくる。私は常体と敬体を手早くのが特にきらいなだけでなく、敬語を使って「おられる」などと書き、まるで先生が生徒にしかられているように感ちがいされることが、むしょうに気にくわない。生徒は、それを扇手でくわむかをあばばす。まったく様になりらない。私は時々、先生が気の毒になる。この文章に内容がないことは認めるが、まったく真実の感想なのだ。

私は時々、先生が哀りしくなる。

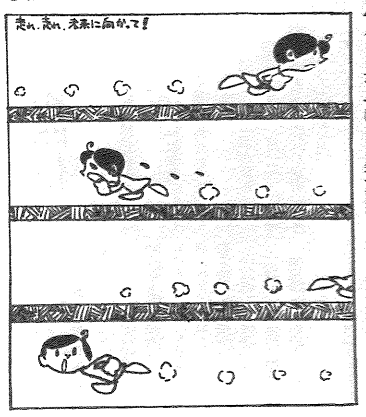
きいてほしい。そして私のひとりごとから何か一つでも共感するようなことがあったら心にとめておいてもらいたい。

まず、他人にはわからなくても、何か真に選ばれたことを放送部聞いた時の感激はひとしおであった。この感激は生涯忘れないと思う。自分もできるんだ、やればできるんだ、その時そんな実感がもたった。

そう今の年代は、不可能という文字はないと思う。だから自分は駄目だと思い込んで何かに取り組まないでほしい。きっとやれると思って、自分に確信をもって、たとえそれが小さな細い光として見えても、やり遂げてほしい。その先は、どう開けているかは未知だから。失敗であっても、自分自身に恥じなければ。人がどう見ようと、そして求めていやな事、自分には到底できないと思うことに飛び込んでいってほしい。その時、ひょっとしたら自分の意外な面、意外な力が発見できるかも……？

今考える、と私の高校時代はカッコ悪いことばかりであったような気がする。言い換えれば好きな事をやってきたと言えるのかもしれない。▲禁止されている部活動、サマーキャンプに行った事。▲サークル活動で全国の学生との交流。▲生徒会の任期中、先生に叱られた事。▲遅刻して職員室に呼び出された事。▲講会の音を吃って、みんなに笑われた事……。

けっして優等生ではなかったし、やりたい事もやってきたと思う。そのたび、後悔はかりであったが、変化のある刺激のある毎日であったと思う。私の道は、心一つの道。心の持ち方一つで、自分を変える事ができる道。人に笑いに笑われようヨ！やりたい事をやろうヨ！自分の人生は一回しかないのだからだから。後輩よ、南高にいる以上南高に入ってよかった。笑って後ろを振り返れる何かをつかんでほしい。またいいたい事、話したい事はほどあるけど、とうとう卒業という代物が迎えに来ちゃった。すばらしき我が南高の学び舎、そして恩師と後輩達よ、さようならは、またいつか逢いましょう。あの空の下で……。



卸売・小売業トップ

会社より職業を先に

仕事を通して自己啓発

三学期も残りすくなくなり、三年生は社会に巣立つ時、または大学生として出発する時がきたわけである。この機会に三年生だけではなく一・二年生も自己の将来、進学・就職について考えてみたいものである。

ことしの就職者数とその内訳は次の通りである。

就職者数　一八八人

（中男子二二人）

産業別就職決定内訳

卸売業・小売業　三六・八%　六九人

製造業　二八・七%　五四人

金融・保険・不動産業　十四・四%　二七人

サービス業　十・三%　十九人

運輸・通信業　五・一%　十人

公務員　二・五%　五人

建設業　一・五%　三人

電気・ガス水道業　〇・六%　一人

なお就職前の希望先は、製造業二七・二%、卸売業・小売業二一・三%という順であったが、卸売業・小売業が大きな変化をみせトップになった。その原因は卸売業・小売業の職種が多く、求人数が多くなったためそれに比例して、決定者も多くなったわけである。つまり、第二次産業より第三次産業の方が増加率が高いということである。運輸・通信業は逆に、十七・〇%であったのが五・一%に減少している。

職業指導課では「職場には組織・仕事・集団・個人という四つの基本的ものがあり、例えば就業規則などのように組織が個人に対して要求することが多々ある。まずその要求に含めるよう努力し次に仕事を通してその中に自分を見いだし啓発し、適正な自信と意欲を養成をもって自分を進歩させてもらいたい。そして職業を通して社会に適応できる生きがいのある人生を送ってほしい。一・二年生の就職希望者への願いとしては、会社を選ぶのではなく職業を選んでほしいということである。それには自分の持ち味を最大に発揮でき、働くことを通して自己啓発ができるような職場を考えてもらいたいと。また積極的に相談し、情報収集および職業指導の手引上二冊の自己理解まとめを参考にして自己をよく知ること。そして、職業指導書を大いに利用してほしい」と語っていた。

従来中卒者が多かった製造部門も、企業側は高卒者を求めているこれからの企業は技術員・事務員の差別はなく、昇給昇進も自己の実力次第で決まる傾向が強くなってきているようである。

次に進学者数とその内訳は

進学者数　一五一人

（中女子一人）

国立一期　十四

国立一期　二六

公立　二〇

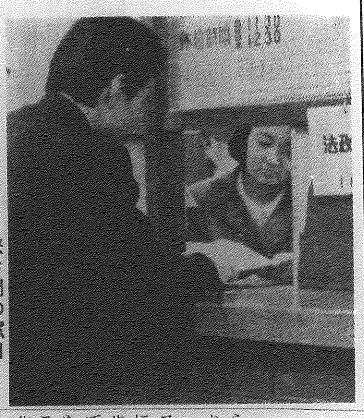
私立　七四一

国公立短大　七

私立短大　五四

各種学校　二〇

進学指導課では「大学紛争の影響からひとりひとりの出願件数が多く、特に浪人の場合大部分が七・八通出しているため、競争率が非常に高くなるであろう。あせらず恐れず、心配せず、全力を尽くすことである。また二・三年生の愚答を二・三ヶ月してみよう。進学面では「パンフレットや広告文だけで大学や学部の研究をすませるのに、また二・一年生も進路探究に狭き門の窓口



に実力を発揮出来るよう、早く目標を決め進んでもらいたい」と語っていた。なお、月・五月現在の合格者は次の通りである。

国立　九五人

公立　二八人

私立短大　一七人

各種学校　一人

次に、進学・就職を経験した人達の愚答を二・三ヶ月してみよう。自己の見解をしっかり持って相談に行くこと」。就職面では「高卒者はあきらめの中で小市民的な生活に安住しがちだが、就職に対する前向きの情熱で進もう」「小さな理由で転職する人はどこへ行っても満足しないであろう。以上の事柄を参考にして三年生は四月からの新生活をよりよいものに、また二・一年生も進路探究に自己の実現の機会を日々の各教科の学習・クラブ活動に生かし、充実した生活を送ろう。

整容講座

おしゃれの手ほどき

美しさは内面から

整容講座が、三年商業科の生徒のために、二月十六日視聴覚室で開かれた。これは業界側になると毎年行なわれているものである。

マックスファクター・資生堂・カネボウの化粧品メーカーが講師、講座が進められていった。

この整容講座は、女生徒が実社会に出る際、エチケットとして化粧の仕方の知識を身につけるために行なわれている。

各社とも一時間ずつ決められた中でマックスファクターはスライド・ベルなどのパンフレットを配ってから実演へとうつった。資生堂はスライドで「れ」と題し、服装や靴をT・P・Oに合わせたものにするなど、めだたないおしゃれを強調していた。

映画「朱礼嬢さん」は、町角のお嬢さんに始まり、おしゃべりは肌の手入れの説明、同時に実演が行なわれた。

スライドでは「卒業後のおしゃれ」と題し、服装や靴をT・P・Oに合わせたものにするなど、めだたないおしゃれを強調していた。

映画「朱礼嬢さん」は、町角のお嬢さんに始まり、おしゃべりは肌の手入れの説明、同時に実演が行なわれた。

スライドでは「卒業後のおしゃれ」と題し、服装や靴をT・P・Oに合わせたものにするなど、めだたないおしゃれを強調していた。

映画「朱礼嬢さん」は、町角のお嬢さんに始まり、おしゃべりは肌の手入れの説明、同時に実演が行なわれた。

会場は解放的

レコードコンサート

一日中曜日の放課後を利用して、放送部主催の「レコードコンサート」が開かれた。

会場の視聴覚教室には、いすとテーブルが喫茶店風に並べられ、正面には、落書きや〝ベッセル〟の詩が書かれたベニヤ板が、無造作に立て掛けられていた。照明は、うす暗い中に柔や赤い光が、ぼんやりとついている程度で、雰囲気全体がレコード鑑賞にふさわしく装飾され、放送委員の苦心が各所に見られた。

プログラムは前回に比べ、クラッシックが無くなり、フォークソング・ビートルズ特集などが加えられた。曲目も、ビートのきいたニューヒットの曲が多くなったため、やりやすいという程度で、満内全体が少し盛り上がった。これからもこのような機会をもちたいなどの声が聞かれた。中には後ろの方ではよく見えない、時間が長すぎるという苦情もあった。

最後、客席から講座を受けた生徒全員に、見本の化粧品が配られた。また資料には美容のための花椿会があり、記念として椿の苗木が一本学校に贈られた。

講座を受けた三年生は顔を美しく見せることを学んだが、中身の方はどうなるか。古人は今、外形だけではなく内側からも美しい人になってほしいものである。

今、外形だけではなく内側からも美しい人になってほしいものである。

今、外形だけではなく内側からも美しい人になってほしいものである。

積もった積もった

一夜あけるとそこは雪国

去る二月十日、西部地方では珍らしい雪が一センチほど降り積もり、あたり一面が雪におおわれた路上は雪のために凍結し、車はスリップする状態であった。歩くにもつるつるすべって早く歩けず歩行者にとっても歩きづらいものであった。その反面、無邪気にも雪をかき集めたり、積もったところに足跡をつけて喜んでいる生徒も見うけられた。

市営バスも始発が七時で、おまけにのろのろ運転であった。そのため本校もスクールバスが遅れたので、一時間目の授業は自習となり、SHRは九時半から始められた。場所によっては、一時間もバスを待つというところもあり、二時間目の授業が始まってから、登校してきた生徒もいた。

自転車通学の生徒の中には、スリップのために、乗ったとたんに自転車ごところんだり、ひどいのになると、畑や田に突っこんだりした生徒もいたとか。

午後になっても雪は降りきらず翌日になっても日陰の部分には、まだ雪が残っていた。

波濤六号発行される

南高生の実態をさぐって

浜松南高等学校生徒会誌「波濤」第六号が三月一日に発行された。なお、月・五月現在の合格者は次の通りである。

波濤とは本来大波という意味である。太平洋を目の前にしている南高生の、エネルギーを波にたとえたことが題の由来である。「波濤」により、四十四年度の記録ともに南高全体をより良くすることを目的として行ない、波濤編集委員会を設けて編集された。編集委員会は、生徒会で依頼した三年生十一人、一年生四人で編成された。六月中旬ごろから始められ、二月までの約八カ月の間に行なわれた。編集過程において、担当の先生と生徒の話し合いでの対立、意見の食い違いなどがあり、依頼記事・寄稿文の考え方の相違、依頼・寄稿文が紛失し書き直すなどの困難を乗り越えて、校正も仕終わり、三月二日に生徒会に配られた。

今月の内容は体育大会・球技大会・マラソン大会・文化展・弁論大会・カルタ大会・砂の芸術の反省や結果、寄稿文、依頼文、特集等がある。特集として南高生徒の実態を取り上げており、授業・教師・制服・髪型・学生の政治活動・交通問題に中心が置かれていて、私たち高校生にとって関心のあるものばかりである。

この会誌により、一年間を振り返り、反省してみることもよいことではないだろうか。

編集にいそがしい波濤委員

砂の芸術

三年になって今度は雨である。はりきってでっかいものを造ったのに。そこでまた海へ友と先生を投げ込んでやった。私も海へ入ってやったから帰り道の雨は気持ち良かった。

砂の芸術の思い出、それは永々たる水だけだった。

AK

マラソン大会

マラソンとは孤独なスポーツ。この公式が成り立つことはマラソンを経験すれば誰でも理解できるだろうマラソンとは情熱のスポーツ。この公式もいっしょうけんめいに走れはわかることだと思う。私はストルの音を聞く間まもなくは遮断なく考えしかない。スタートラインに立った時できる逃げられるものならば、逃げたいという気持ちでいっぱいだ。しかしストルの音を聞くと、何かの糸にあやつられかかのように走る。苦しさに負けようになる時、休めは体んだ方が走るのがつらくなるんだと自己流の定義で自分を励まし走る手で見たたさを楽しいことを想像しながら走る。走っている時は、頭の中からすべての雑念とはなくなる。無我に近た境地に立つ。そして走り終えた時の気持は口で言い表わせない程価値のある物だと思う。

なんとも言えない幸福感。私は三年間この幸福感を求めてマラソン大会に参加したのかもしれない。

MS

三年間を通してのマラソン大会の成果は、書面のゆえものだと自分は確信している。

一年の時は前日に無理して友人とコースを走って自信をつけたにもかかわらず、体力をまで考えなかったばかりに当日は体力不足で追い抜かれはなし。

一年の場合は、この頃は今まで以上に体育てのものが苦手になったし、一年の苦い経験を生かして好成績の達成をと思っていた。だがいざ本番、思ったほど好調でも最後の友人の激励はでは決めなっ た。

そして三年、二年の時と違う新たなファイトが湧いてきた。それはガールフレンドの、悪いえばみせつけてあった。そのため好きな勉強（？）の時間をきいて練習に専念し、とうとう裏切られた自分でも驚くほどの好成績だった。ぼくは速くないから競技をそのものは余り関心がないがマラソンが好きだ。その精神が。

JT

事務用　文具　機械
株式会社　伊勢屋
本社　浜松市連尺町　TEL 53—5111
営業所　浜松市佐藤町　TEL 63—5111

文房具・事務用品・事務機械の御用は……
卸商
株式会社　竹内商店
浜松市肴町143　TEL 53—2194（代表）

光明堂は毎日学生の店です
技術の店　かけよいメガネ
メガネの光明堂
遠州病院東（遠鉄駅前）TEL 53—7755

音楽教室　ピアノ科・ギター科・ドラム科・箏曲科
生徒募集
レコード・楽器・ステレオ
音のハイショップ　イケヤ
本店（有楽街）㊷ 5151(代)　鍛冶町店 ㊸ 5550
遠鉄名店ビル店 ㊸ 7814　袋井駅前店 ② 2529

美しい御写真は……
大石写真館
五社神社坂下
TEL 五三—一六五六

スポーツ用品は
アオヤマスポーツ
浜松市肴町一四一の二
TEL ㊷ 九一四八

鉄鋼・機械・溶接棒
軽合金伸銅の複合経営
が明日を創る!!
資本金　585億8千万円　工場　全国19工場（建設中2工場）
従業員　約30,000名　売上高　約3,000億円
くわしい資料，会社概要などご希望の方は学校，住所，氏名を記入のうえ下記へ
〒651　神戸市葺合区脇浜町1丁目
神戸製鋼
雇用開発部

メガネで生かそう
あなたの魅力！
至誠堂眼鏡店
浜松・伝馬町角・会議所前　TEL 52-6219

三年生を送る会

進行に問題が
期待を裏切る紙飛行機
あっけにとられた『坊ちゃん』

卒業をまじかに控えた三年生に思い出を頭みながら楽しんでもらおうと、生徒会の主催で、〝三年生を送る会〟が開かれた。途中で二年生の部『ミヨちゃんとタメゴロー』がテープレコーダー故障のため中止となり、一時どうなるかと思うほどであったが、こうして今回の三年生を送る会は、校歌斉唱を最後に幕を閉じた。

一月十七日、例年通り〝三年生を送る会〟が体育館で開催された。蔵職・進学が決まった人もいれば、これから受験する人もいる。そこで、卒業をまじかに控えた三年生に、三年間の思い出を頭みながら楽しんでもらおうと、生徒会主催で開かれた。

満場の観客を集めて、予定通り十二時二十分、照明を落び〝三年生を送る会〟の幕をあげた。最初に、かるた大会・美術の表彰、引き続き記念品贈呈。校長先生の「ありがたく頂たいします」の一声に場内は明るい笑い声で埋まった。

十二時三十分、一年生の部『坊ちゃん』を皮切りに催し物が繰り広げられた。この劇は、幕切れが早く、観客があっけにとられるほどであった。ミヨちゃんの歌で、カップルが現われると同時に、スリッパや紙飛行機が飛んだ。高校生として、鑑賞マナーを欠めたいものである。

人気を集めた有志の演奏は、一年生で結成された寺・ルマーズから始められた。ギターから『日本の幸福』が流れると、会場は水をさすように一瞬シーンとなった。しかし、途中で『治管と貴』のコントは、シーンとなった雰囲気とはうらはらに、笑いのうずとなった。さらに寺・イコーセーズが出場。このグループは、すべて三年生で結成されている。『マイ・ハート』の陽気な歌声とともに始まった。『女と男』は、会を盛り上げるために、なかなかの二人が唱われた。『さようなら』を歌うと、三年生ばかりか、一・二年生も胸しみ渡ったのか聞きいっていた。有志の部の結びは、ザ・ソウルケアが出場。きょうの主役ともいえる三年生と二年生で結成されている。サングラスをかけたりして、スケールが大きく、ビートのきいた曲もスローの曲もこなしていた。和田さん自作自演の『メモリー』が披露された。場内は、疲れたせいか、肩を寄せて寝ている人もいた。文化展のときとは違いトイレットペーパーを投げる人がいなかったことは、よいことといえるだろう。

会は中盤を過ぎ、続いて二年生の部『ミヨちゃんとタメゴロー』が始まった。ミヨちゃんの音楽が流れてきたが、のちに聞こえなくなった。場内放送テープが故障と伝えられた。そのため劇は中断し、場内は悠りきわめきに変わった。ライトが付いても依然として、紙飛行機が飛ばすのはやまなかった。中断した間を借りて、前期本部役員の紹介が行なわれた。本部役員がステージに整列し、会長が紹介した。それにもかかわらず座席を放れて、むだ話をしている人が多かった点は、全生徒が考えるべき問題ではないか。一時三十五分、再び幕があき『珍説モモタロー』を熱演。正義の味方鬼ケ島党と債金がせきのモモタローとの間で、社会政治が繰り広げられた。流行語や動作がバラエティーに富み、声援がさかんに飛んでいた。

終幕後、三年生代表の水野さんが「見ていても受験のことが気になり落ちつかなかった。でも僕たちのためにとうもありがとうございました」と懇謝に対れのことばを述べた。フィナーレは、生徒全員起立し校歌斉唱。蒼色に輝った会だったが、三時すぎさかんな拍手によって幕を閉じた。

劇全般がなにかバタバタ、三年生の立場というものを優遇手りにしたようだ。催し物ひとつにおいても、もう少し企画を充実に考えるべきではないだろうか。これらの問題を解決し、今後の〝三年生送る会〟に役立たいものである。

心に残るか三年生

生徒会本部では反省として、「結果的には失敗であったが、出演者や準備に携わった人たちのようすをみていると、一概には失敗だったとは言えない」と語った。

〝三年生を送る会〟終了後に、本部に〝三年生をさきまわた〟という内容の投書がきた。これについて長田会長にインタビューしてみると「確かに三年生のことは考えずにただ〝三年生を送る会〟の成功ということしか考えていなかった。その点については、もっと三年生のことを考えて、会員で楽しめる会にしたかった」と語った。

また、二年生の寸劇『ミヨちゃんとタメゴロー』が行なわれている途中、テープの故障のため劇が中止されてしまった。また故障の原因は、はっきりしていないが予行練習では何の異常もなかったのに、当日になって故障が起き、劇が中止されたことはたいへん残念である。

あの場合、出演者がマイクを使ってセリフを言うなど、なんらかの方法で劇を続けてほしかった。その他、劇の練習・準備なども放課後遅くまで残り、休日も登校して練習をしたが一部の出演者の集合が悪いため、本番では練習不足が目立った。

観客の態度は、昨年よりよくなったようにいわれている。その理由として、トイレット・ペーパーなどが投げられなかったことや、スリッパ・飛行機などが何回も投げられたり、むだ話をしている人や眠っている人などがいて、まとまりなく、あまりにも舞台に無関心だったのではないだろうか。〝三年生を中心にけなべきたがこれから受験をひかえた人たちに、すれば受験のことが気になり、心から楽しむことはできないだろう。このことは、今後の〝三年生を送る会〟を運営していくための大きな障害となるだろう。

物理クラブ
JA2YNS局が開局

物理クラブでは、クラブ活動にアマチュア無線を取り入れ、活動範囲を広めている。

同クラブでは四十三年に部員の提案で、クラブ活動にアマチュア無線を取り入れることになった。最初はクラブ費の都合で新しい機材は買えず、思うように交信できなかったが、その後古い部品を使い、何回ためく改良を加えた結果半年がかりで、送信機『TX88A 9m89』が完成した。機械は中古だが、部員の努力がみのり感度は抜群である。昨年の六月一日物理理事備部の一角に『JA2YNS局』が開局し、現在国家試験に パスし、免許を持っている部員四人が、沖縄を始め日本全国と交信を行なっている。

高等学校の物理クラブでは、アマチュア無線を取り入れていると ころが多く、我校でも三年ほど前から計画していたことである。これまで物理クラブでは、電気の研究・物理に関する研究を中心に活動してきたが、あまり盛況に行なわれていなかった。現在の活動はもっぱらアマチュア無線が主である。

これからの活動について部員は「アマチュア無線を始めてからはクラブが楽しくなりました。これからは世界中の人と交信できるような技術を身につけてゆきたい。残念なことは、クラブ費の都合で機械の部品が思うように買えないことと、部員が少ないことです。来年度の新入部員を期待しています。アマチュア無線のおもしろさは、なんといっても世界中の人と自由に話しができることです。一度交信した人とは忘れられない友だちになってしまいます。それに機械を組み立てる時の楽しさには備堂まで来て私たちの活動ぶりを みてください」と熱心に語ってくれた。わが南高の通信センター『JA2YNS局』に期待しよう。

職員室だより

◆佐賀県の先生方にとのところおめでたが続いた。一月三十日本田（巻）先生のところに坂本が二人生まれた。翌年の赤ちゃんであった。学校へ出て来られた本田先生は最後の先生方に「一度に二児の父親になりまして、私もびっくりしておりますが、しかし早く大きくして一緒に酒を飲みたいと思います」と感想をされた。職員室の先生方は一せいにお祝いの拍手を送った。

塩崎先生のところは、二人目の女の赤ちゃんだ。先生は休憩中で お喜びの言葉をうかがっていないが両手に花でさぞお喜びのことであろう。

◆先日、数学の中村先生が図書室に「二時間ほど監禁されるとい う小さな出来事があった。中村先生は図書室で雑誌を読んでいた。それと知らない図書係の生徒は図書室を出ると、外から鍵をかけてしまった。鍵をかける音を聞いて先生は急いで中から 呼び出した。「お前は一体どこから入って来たんだ！」

お前は一体どこから

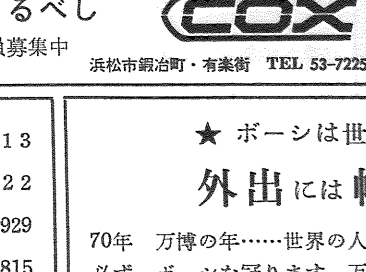
◆英国ロイヤル・シェークスピア劇団の名古屋公演は二月二十日であった。一月十二日の東京公演が度切りに福岡・大阪を回って、名古屋公演が日本最終のもので、本場のシェークスピアを観に来たいと思っている人たちはその日をのがすわけにいかなかった。本校の英語科の先生方はその日授業を五時間目で打ち切ると二台の車に分乗して東名名古屋に走った。

愛知文化会館の場内は観客で満場であった。

幕が上がると名古屋市街の風景が目に伝わって来た。舞台の音の合調が多い時はつぼきの雨をあびたが、先生方は満足気であった。一時間半の上演時間は 星まっていた。この日は「ウィンザーの陽気な女房たち」という喜劇が上演されたが、さすがに本場の味はすばらしかった。彼らの演技のスケールは大きく汗を流して熱演した。英語科の先生方の全三円張り上げは最前列だったので各演技者の熱演がじかに伝わって来た。

あっという間に過ぎ去った。観客は一せいに拍手を送った。俳優たちは何回も返礼し、拍手はなおつづいた。満足と賞賛の拍手であった。

満足を出てみると名古屋市街は大雨であった。一ケ月余りも雨の降らない日が続いて名古屋市が雨を求めていたのだから有難い雨に違いなかったのだが、合演場主の合風であった。しかし先生方は浜松まで帰らなければならないので、とにかく東名を 慢走していた。ひどい雨がフロントグラスに打ち当たり、窓になって流って来た。高速道路の白線のセンターラインは見えない。さながら海の中を走っている感じだった。車の数は少ないが通い幕子車のしぶきをあびると前が全く見えない。対向車のライトが真の中で輝くしかけている船舶に、灯台の灯のように点滅して行く。速度計を気にしながら助手席から増田先生が「先生少し速度を落してよ」と浅原先生に言った。それでも浅原先生はとぼけし、何台もトラックを追い越した。先生は高速道路では百キロで走らなければならないのだと思いこんでいるように走らせた。



おめでとう　新しい生命

体育科本田（巻）・塩崎両先生のお宅に、そろって赤ちゃんが誕生した。本田先生のお子さんは、
・氏名　本田清司・雄司
・生年月日　昭和四十五年一月二十五日
・出産時の体重　清司二五〇〇g　雄司二九〇〇g

「名前は、男らしく清らかに育ってほしいと願ってつけました」と喜びをかくしきれないようである。塩崎先生のお宅は、二人目の女の赤ちゃんで、
・氏名　塩崎美紀
・生年月日　昭和四十五年二月二十日
・出産時の体重　三四五〇g

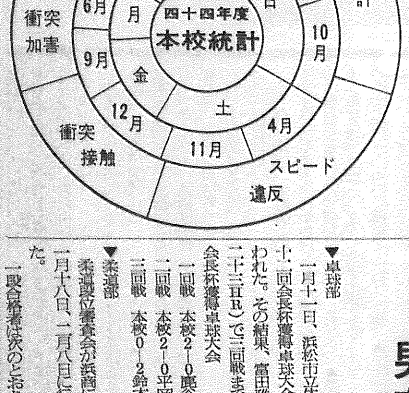
清司君、雄司君、美紀ちゃんの健やかな成長をお祈りします。

もっと自覚を!!
免許所持者急増

昭和45年度は南部における交通違反数が急増した年であった。年内の違反数は93であり、これはここ三年前の約2倍になっている。そこで、違反数と我校の免許証所得数を調べてみることにした。

二月における免許証所得者は自動二輪130人、原付自動車53人、普通車9人であるが、この数字は学校に届け出たものだけで、実際には、これを上まわる数字になるようである。この他にも、春休みに自動二輪の講習を受けるものなど、免許証所得者は次第に増えていく傾向にある。

交通違反数も急増したが、昨年四月からとしの二月までのそれは63である。そのうち最も多いのは「無免許運転」で12、次が「スピード違反」の01である。これらはもっと生命に関することであるから、もっとこの問題を慎重に扱うべきではないだろうか。また、月別に見た違反数は、7月が一番多く、10月、11月が続いていることがわかる。



このように我校の交通違反数と免許証所得者は増加したのだが、それについて交通の係の中村先生はこう語ってくれた。「交通違反をする、ということの原因にはいろいろあるだろうが、その一つとして生徒がオートバイなどに魅かれるあまり生命の尊さというものを軽みることがある、ということがあげられるだろう。若者がそれらに魅かれる気持もはよくわかる。だがそれが度を越さないようにしてもらいたい。違反と事故はつながるものだからね」

黒帯ふえる柔道部
男女バスケともに第四位

▼卓球部
一月十二日、浜松市立体育館で市・町会長杯争奪卓球大会が行なわれた。その結果、富田雅人君（二十三日）で二回戦まで進んだ。

会長杯争奪卓球大会
一回戦　本校2－0鹿谷クラブ
二回戦　本校2－0平岡ボデー
三回戦　本校0－2鈴木自動車

▼柔道部
柔道段位審査会が浜商において行なわれた。

二月八日に浜北体育館において剣道段位審査が行なわれた。

一段合格者
袴田　正　二十三日R
剣道部では、一月二十二日に可美中学校で行なわれた剣道二級審査に六人が受験した。

▼サッカー部
県西部新人戦が十二月十六日から始まりベント八校に進出が決定した。

この試合でサッカー部は初めて浜北・県西部新人戦が二月二十

嶋津	喜義	二十五日R
酢山	英臣	十五日R
中村	裕	十五日R
三輪	哲矢	十五日R
岡本	孝仁	十五日R
河合	三雄	十五日R
竹山	次郎	十五日R
大石	和彦	十四日R
水野	益宏	十四日R

二日に浜商で行なわれた。

▼剣道部
二月八日に浜北体育館において剣道段位審査が行なわれた。

一段合格者
袴田　正　二十三日R
剣道部では、一月二十二日に可美中学校で行なわれた剣道二級審査に六人が受験した。

▼サッカー部
県西部新人戦が十二月十六日から始まりベント八校に進出が決定した。

この試合でサッカー部は初めて

嶋津	喜義	二十五日R
酢山	英臣	十五日R
中村	裕	十五日R
三輪	哲矢	十五日R
岡本	孝仁	十五日R
河合	三雄	十五日R
竹山	次郎	十五日R
大石	和彦	十四日R
水野	益宏	十四日R

会第者に試合に臨んだ時のようすを訪ねてみると「無我夢中でした」と顔ほころばし、喜びを隠しきれないようだった。

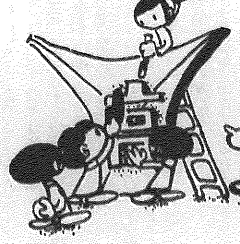
寄贈品は徽章と決定
のちまで残るものを

我校の校章の出来は、人が大型に出かって両手を上げ、希望にあふれている状態の型だったものである。全生徒が、出来の悪い部解し、希望に満ちあふれ行動を送りたい。この寄贈品のいつまでも大切に、校章に誇り希望をふれていく人間になろう。

我校の校章の出来は、人が大型に出かって両手を上げ、希望にあふれている状態の型だったものである。全生徒が、出来の悪い部解し、希望に満ちあふれ行動を送りたい。この寄贈品のいつまでも大切に、校章に誇り希望をふれていく人間になろう。

我校の校章の出来は、人が大型に出かって両手を上げ、希望にあふれている状態の型だったものである。全生徒が、出来の悪い部解し、希望に満ちあふれ行動を送りたい。この寄贈品のいつまでも大切に、校章に誇り希望をふれていく人間になろう。

寄贈品については、十一月ごろから三万円にわたって、三年生各クラス代表と先生によって、四回ほど会合を開き、検討した。会合の場では、親子時計などという案もあったが最終的には、一月末に徽章と決定した。このことについて、鈴木実先生は「やはり、のちのちまで残るものにした」と語った。



一〇〇人乗り登場
列をみだすな

世界の人と話しを
ハロー CQ CQ CQ

三学期になってから、バス会社の都合でバスが小型になった。今までの、八十人乗りと七十人乗りに合わせて、臨人乗りが登場した。そのため、合数は十一合から、十一合に減った。

大型化になってからは、バスの時間も変わって、八時十分のバスがなくなり八時八分になった。最終は今までより八時十分であるとはいっても、実際は、二分頃である。

三学期になったばかりの時は、時間の変更を知らなかった人が多くいたため、臨時にバスを出して順調に勝ち進み、準決勝で浜商に敗れた。

結果は次のとおりである。

一回戦	本校101－21月在	
二回戦	本校	75－41城北
三回戦	本校	62－34渥井
準決勝	本校	26－89浜商
三位決定戦		
本校42－71浜松北		

運動クラブにとって活動しやすい準備となっている。今回不調だったクラブは次の機会に真い成果を上げてほしい。先輩たちの熱意をひき続いてともに一年生を中心とし、今後の活動を期待したい。

なんとも言えないものがあります。興味のある人は寺と一緒、物理準備室まで来て私たちの活動ぶりを

なんとも言えないものがあります。興味のある人は寺と一緒、物理準備室まで来て私たちの活動ぶりを

は、満員のバスに乗りたくなかったからである。一年のバス通学者員には注意することもできず、毎日人数の調整に苦労している。

大型化になって、一度に多くの生徒を乗せることができるようになったのだが、生徒の集まりが遅いため、定員オーバーになってしまう。寒くて早く起きるのがつらいとはいえ、生徒の心がけしだいで大型化も生かされてくるのではないだろうか。

新設案できる
学校の承認待つ新クラブ

写真・演劇クラブ設置案が成り学校側の承認を得るはかりになった。

毎年三学期ごろ、生徒会でクラブ新設案が受つけられるが、これまでは写真・演劇・レコード鑑賞クラブは部員が四人と少なく、活動教室がないことから、また少林寺剣法クラブは部員が十六人と多かったのにもかかわらず、指導教師がいないことから新設案にならなかった。

先号で写真クラブ新設のようすを紹介したので今回は演劇クラブのようすを紹介してみよう。同クラブ新設の動機は、演劇の理解を深める。演劇を通じて生徒間の交流を図るなどである。現在の部員は十五人で具体的な活動はしていない。すべて学校の承認を得てからということである。写真・演劇クラブ両方とも、文化クラブ不振が言われている折り甲ひとも仲間入りをし、新しい息吹きを吹きこんでほしいものである。

写真
受験写真とポートレート
大関写真館
浜松市鍛冶町柳通り
TEL ㊸9371

!!貴方の視力を管理致します!!
年に一度は当店の
精密測定検査を
御利用下さい
足立メガネ
浜松連尺地下道西口
TEL 52—5229
専用駐車場完備

君が服装にプラス・アルファの
「何か」を見つけたければ
コックスへくるべし
mr.shop COX
◆フレンドクラブ員募集中
浜松市鍛冶町・有楽街　TEL 53-7225

旅行カバン・学生カバン
季節のニューデザイン
ハンドバックとショッピングバック
中野屋

みんなそろって
万国博へ
おいで下さい

ご出発の安心感　お帰りの満足感
日本交通公社
TEL 53—2111

——シューズ・チェーン——
ワシントン
ワシントン靴店
田町有楽街 ㊷4913
ライオン靴店
鍛冶町 ㊷2022
ニューワシントン
鍛冶町 ㊷1922・1929
マルサ店
㊫デパート内 ㊸1815

《靴の専門店》
当学校女子靴指定店
流行とセンスの
アツミヤへどうぞ
アツミヤ靴店
遠鉄名店ビル南　電話 53-0645

★ボーシは世界のエチケット★
外出には帽子を……
70年　万博の年……世界の人はエチケットとして必ず、ボーシを冠ります。万博にもおでかけにはセンスを生かしたボーシを専門店で
ボーシ　バンノ
浜松・かじ町大通有楽街入口
TEL 52—0630
この券ご持参の方のみ5%割引します
学生割引券　46.12.31
有効
ボーシ・バンノ
学校名